

製品名: ネットリン 1 (8Q2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14577**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	NTN1
別名	Netrin1; NTN1; NTN1L; Unc6;
遺伝子 ID	9423.0
SwissProt ID	O95631
免疫原	ヒトネットリン 1 の合成ペプチド

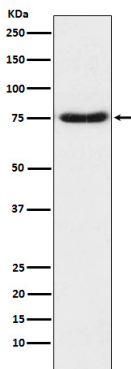
背景

ネトリンは中枢神経系の交連軸索と末梢運動軸索の誘導を制御します。DCC 受容体または一部の UNC5 受容体との結合により、それぞれ軸索誘引または反発が起こります。ネトリンは中枢神経系の交連軸索と末梢運動軸索の誘導を制御します。DCC 受容体または一部の UNC5 受容体との結合により、それぞれ軸索誘引または反発が起こります。UNC5C への結合は、微小管中の重合 TUBB3 から UNC5C の解離を引き起こし、微小管の動態と軸索反発の増加につながる可能性があります (PubMed:28483977)。脊髄への背根神経節軸索投射に関与しています (PubMed:28483977)。また、アポトーシスの開始を防ぐ受容体との結合を介して生存因子としても機能します。アポトーシスを調節することで腫瘍形成に関与する (PubMed:15343335)。

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



ヒト胎児脳溶解物中の Netrin 1 発現のウェスタン ブロット分析。